

27年度補正



有限会社サンワ技研

生産体制の効率化とものづくり技術の向上

H25年度・H26年度補正ものづくり補助金により導入した設備によって、受注が大幅に増加していることから現在の生産体制では負担が大きく、新規製品や超高精度な製品の受注ができない状況である。そこで、NC平面研削盤を導入し生産体制の効率をアップし、新規製品等の受注を可能にさせ増収増益化を実現させる。



事業の背景と目的

現在の生産体制では、新規製品の受注ができないばかりでなく、技術者の技術力向上の弊害となる懸念があるため、未経験者でも比較的簡単に精度の高い製品を生産できる環境整備が急務になっていた。そこでNC平面研削盤を導入し、加工技術の底上げを行い、さらに高い精度を維持することで顧客を囲い込み、増収・増益を図る必要があった。

事業内容と成果

これまで平面研削盤の砥石の成型の工程において、技術者の拘束時間が長く効率性に欠けていた。そのため、技術者のスキルアップの時間が確保できていなかった。

本事業によりCNC成形研削盤を導入したことによって拘束時間の長い工程の圧縮が可能となり、自動車用電装部品の生産効率が大幅に向上することが確認された。



ハーネス用刃型



CNC成形研削盤



取材風景（富窪専務）

事業取り組み後の成果

経験を要するアナログ機械からデジタル化を図ったことで、専門学校卒ではない新卒が採用できるようになった。自動化で生産性の向上（時短）が図られ、かつ24時間無人での連続操業による短納期対応が可能となり、同業者や発注者から安心して仕事を任される会社としての評価を受けられるようになった。

達成要因

機械設備の導入に当たり、事業方針・計画、人材をどう充てるか等について十分に練り上げ、対象機械の仕様・性能を調査し、自社の体制に合う機械を導入したことが第一に挙げられる。また、デジタル化によって、知識の共有化（研修会での知識や情報を従業員間でレベリング）が図られ、問題解決が早期に的確にできるようになった。

今後の取り組み

新人でも能力が高くやる気がある人材には多能工化（高難度加工機械の2～3台持ち）を図りながら、クレームや再加工（ムリ・ムダ・ムラ）の無い、同業者や発注者から安心して仕事を任される「頼られる会社」を目指していく。また、事業承継をなるべく早期に行なう予定である。

メイドインジャパンの誇り、当たり前前を当たり前前！



設備導入による自動化により、生産性の向上、リードタイムの短縮を減らすことができるようになったので、今後も担当者の技術力向上に取り組み、若手社員の育成、働きやすい環境整備を図ることで、外注先からも社員からもこれまで以上に「頼られる企業」を目指して、一層邁進していただきたい。

企業PR

当社は、平成17年の創業以来、平面研削主体で営業に取り組み、速さ、低コストで良い製品を作るための努力を重ねてまいりました。今回の補助事業で創業の基本に立ち返るとともに、CNC成形研削盤の導入により更なる技術の向上・蓄積を図り、短納期対応力の強化でお客様から頼られる会社を目指していきます。



事業者 有限会社サンワ技研
代表者 代表取締役 富窪 和郎
設立年月日 平成17年8月18日
所在地等
[本社] 〒899-8606
鹿児島県曽於市末吉町深川14001-1
TEL 0986 (76) 7413 / FAX 0986 (76) 7414
〈URL〉 <http://kagoshima-sanwagiken.com/>
資本金額 300万円
従業員数 9名
業 種 金属製品製造業